

一般向け 今川図書館だより

いまがわーど

2015年3月号

今月のテーマ

「滑稽とユーモア」



今月の特集「滑稽とユーモア」

3月はユーモアあふれる笑いの本を特集します。

面白おかしい笑いから、ブラックユーモアのニヤリとする笑いまで、幅広く展示します。ニヤニヤ、にっこり笑っちゃいましょう。

『芥川症』

久坂部羊 著 2014年 新潮社 ク158

毒とユーモアあふれる文体で、あの名作が現代の病院を舞台によみがえる。「極楽変」「クモの意図」「他生門」「バナナ粥」など、パロディと風刺に満ちた超異色の7篇。

『シルバー川柳1 誕生日 ローソク吹いて 立ちくらみ』

全国有料老人ホーム協会 編 2012年 ポプラ社 911.4セ

毎年公募をしているシルバー川柳の入選を含む88首を集めた傑作選。物忘れ、医者通いの身近なテーマから介護や年金など様々な悩みまで。シルバー世代の日頃の想いをぶちまけた、自虐に満ちた力作が楽しめます。続編が4巻出ています。

『日本の笑い 遊び、洒落、風刺の日本美術』

コロナブックス編集部 編 2011年 平凡社 702.1コ

笑う門には福来る！江戸時代を中心とした、絵画、工芸、浮世絵の滑稽でユーモラスな作品を紹介。先人たちが仕掛けた笑いの罠にかかりましょう。

『イン・ザ・プール』

奥田英朗 著 2006年 文芸春秋 BGオ

ここは、伊良部総合病院地下にある精神科。「いらっしゃーい」という甲高い声と共に迎えられる患者たち。一体どちらが患者なのか？訪れた悩める者たちと、精神科医、伊良部一郎との前代未聞の治療が始まるが…。笑いながらもふと“自分にもあるかも”とってしまう。本当は名医なのかも？直木賞に選ばれた『空中ブランコ』伊良部一郎シリーズの第1作。

『笑うハーレキン』

道尾秀介 著 2013年 中央公論新社 ≡214

家具職人の東口は会社も家族も失い、トラックで寝泊まりする生活を送っていた。だが川辺の空き地の住人に仲間入りする。疫病神や弟子志望の女性が現れたり、大口の仕事が入ったりと、東口の生活が動き始める。道尾ワールド全開の一冊。

『キリハラキリコ』

紺野キリフキ 著 2006年 小学館 コ256

2年7組がふたつあったらどっちに入る？日常を微妙に歪ませて、シニールな笑いを呼ぶ若者の衝撃のデビュー作。不思議な出来事を呼びよせるヒロイン、キリコさんの力に脱力。

YA におすすめ!

中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します

本は読みたいけれど、時間が作れない…というYAの皆さんに、ちょっと大人向けの「YAのための絵本コーナー」を作りました。装丁の美しい絵本、奥の深い絵本、シュールな絵本など、物語の世界を旅できる素敵な絵本を増やしていきます。お楽しみに。

『いつまでも、^{わに}鱈』

レオポルド・ショヴォー 著 2006年 文遊社 950シ(YAコーナー)

フランスの画家のレオポルド・ショヴォー(1870~1940)が生み出した1929年版の絵本。年を取ったリューマチもちの^{わに}鱈はお腹を空かせている。傍らにはひ孫が昼寝をしていて…。モノクロのイラストに淡々とした物語。読んだらきっと、この^{わに}鱈の魅力に憑かれてしまうかもしれない。フランス語の原文も収録。

『かないくん』

谷川俊太郎 作 2014年 東京糸井重里事務所 726マ(YAコーナー)

ある日、友達のかないくんが学校を休んだ。かないくんは親友じゃない。普通の友達。死ぬって、ただここにいなくなるだけのこと?死を通じて生きることも考えさせられる。大人の心にも響く、とても静かな絵本。

新着本コーナー

最近今川図書館に入った本から、お勧めの本を紹介します。
(新着コーナーにあるものもあります)

『賢者の愛』

山田詠美 著 2015年 中央公論新社 ヤ087

初恋の人を奪った親友の息子に『痴人の愛』から直巳と名付けた真由子は、直巳を調教していき…。雑誌『婦人公論』で連載されていた作品を単行本化。丸尾末広による表紙、挿絵も耽美的。

『スギナの島留学日記』

渡邊杉菜 著 2015年 岩波書店 A(YAコーナー)

兵庫県篠山市から島根県の隠岐島前高校へ“島留学”した女子高生。その2年半の体験を、そこがどのような島で、どのような教育を進めているかを綴る。島の再生と、地域を担う若者を育てる先進的な教育などを描く。“島留学”も良いなあと思える。

『日本の大和言葉を美しく話す ところが通じる和の表現』

高橋こうじ 著 2014年 東邦出版 814夕

日本の昔からの言葉、大和言葉をちょっと意識して生活に取り入れてみませんか。無意識にいつも使っているあの言葉は、もしかすると大和言葉かもしれませんよ。

『ゆるい生活』

群ようこ 著 2015年 朝日新聞出版 914.7ムシ

編み物や和服コレクションなど、趣味も充実している著者が、今度は漢方ライフにはまりました。体質改善のまめな取り組みは、凝り性の群さんならでは。まねをすれば健康になれるかも。

特別展示
～春のおでかけ～

「庭をめぐる」「ふるさと故郷に思いをはせて」のテーマに続き、
今回は「春のおでかけ」
春の暖かく、やさしい光に誘われて、どこかにでかけたくなる。
そんな気分になれる本を展示します。

皆様にご好評を頂きまして、引き続き特別展示をいたします。
一般書に限らず、児童書もテーマに合わせて展示しております。
ぜひ、お手に取ってご覧ください。



～3.11 あの日を忘れない～

東日本大震災が起こってから、4年が経ちます。
今年も3.11や防災に関する資料を展示します。
いつ起こるかわからない災害に備えましょう。
期間：3月3日（火）～14日（土）
場所：1階 ガラスケース脇

3月7日（土）

14：00～（100分）

『女ともだち』（1956年・イタリア）

監督：ミケランジェロ・アントニオーニ
出演：エレオノラ・ロッシ・ドラゴ
バレンチナ・コルテーゼ
ガブリエル・フェルゼッティ
イボンヌ・フルノー 他

ホテルでの自殺未遂をきっかけに、友達になる5人の女性たち。恋、仕事、芸術をめぐる、それぞれの生き方が展開される。

3月14日（土）

14：00～（90分）

『安城家の舞踏會』（1947年・日本）

監督：吉村公三郎
出演：原節子
瀧澤修
森雅之
清水将夫 他

太平洋戦争後、華族制度が廃止され、代々の名門華族であった安城家も憂き目を見る。主人である忠彦は、貴族階級との決別の意を込め、最後の舞踏会を開く。

※場所は2階の多目的室です。定員先着30名 事前の申し込み不要。

VHS資料のため画像の乱れ等ご容赦ください。

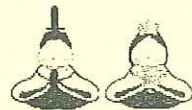
なお、ビデオの状態不良により、当日急遽作品変更という場合もございます。
ご了承ください。



3月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7 
	休館日			おはなし会		映画会
⑧	9	10	11	12	13	14 
	おはなし会			おはなし会		映画会
⑮	16	17	18	19	20	⑳
	おはなし会			休館日		
㉒	23	24	25	26	27	28
	おはなし会	赤ちゃんおはなし会	えいが会 & 工作会	おはなし会		
㉑	30	31				
<p>開館時間 月～土9時～21時 ○の日(日曜・祝日)は9時～17時 休館日 第1月曜日・第3木曜日</p>						



おはなし会、えいが会、工作会については、児童向け図書館だよりをご覧ください
 杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431